

第7回全日本社会人バスケットボール選手権大会 参加報告書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第7回 全日本社会人バスケットボール選手権大会				
●日程	令和7年2月8日 (土) ~		令和7年2月10日 (月)		
●会場	熊本県立総合体育館・熊本市総合体育館(ナースパワーアリーナ)				
●講師	久保裕紀 氏 / 尾形美樹 氏 / 小田中涼子 氏 高野晃平 氏 / 千葉美幸 氏 / 柳田雅人 氏				
●スケジュール	令和7年2月8日 (土) 9:00 会場到着 11:00 プレゲームカンファレンス 更衣、各自アップを開始 12:30 トスアップ 試合終了後、講師よりポストゲームカンファレンス				
●担当試合	令和7年2月8日 (土) 12:30 ~				
対戦カード	YOUMORE沖縄		VS	Signpost	
主審(CC)	千葉美幸氏(本部)	副審(U1)	金石貴之氏(佐賀)	(U2)	伊達桃子
講師/主任	大久保好純 氏(長崎)				
講評	<ul style="list-style-type: none">・全体的な試合は要所要所の重要な部分でCCがしっかり判定を行っていたことで、試合がまとまったという印象であった。・初の全国大会で自分の判定をしっかりと行うとする姿勢はよく伝わったが、今回判定したものがどうだったのかの精査は必要だと見受けられた。・プライマリーが誰なのか、ダブルホイッスルになる分には仕方のない部分があるが、できるだけシングルホイッスルにするためにはどうすべきなのか考えてほしい。・試合中のクルーのコミュニケーションをもっと厚くしてもよかったのではないかな。				
自己の感想	<p>初の全国大会ということで試合に臨んだときは緊張もあり、クルーに不安を与えてしまった部分が多くありました。特に試合中のコミュニケーションではアイコンタクトがなかなかできておらず、CCから試合中にご指摘を受け、修正を行う場面がありました。普段と違う舞台やクルーでも平常心で試合に臨むマインドコントロールが必要だと感じました。</p> <p>試合は全体を通して常に競り合っており、緊張感の高い試合でした。最終的には3点差と最後はどちらが勝つか分からない状態でした。その中で、判定を行ったもの逆に行わなかったものが実際にはどうだったのか、再度精査する必要があると講評をいただいたので、映像で検証を行う必要があると感じました。</p> <p>クルーワークとして、ダブルホイッスルがいくつかみられたのでプライマリーの理解、パイシエントホイッスルの活用などが課題として挙げられました。その一方で特殊なケースに対しての再開方法などミスがないようにそれぞれのクルーで協力できたのは良かった点だと感じています。</p>				

●スケジュール	令和7年2月9日 (日) 9:00 ~						
	8:00 会場入り 8:05 更衣 各自アップ プレゲームカンファレンス 9:00 トスアップ 試合終了後、講師からポストゲームカンファレンス						
●担当試合	令和7年2月9日 (日) 9:00 ~						
	対戦カード	Drunkers			VS	POMPOM	
	主審(CC)	仲間芳幸氏(沖縄)	副審(U1)	伊達桃子	(U2)	矢萩好彦氏(山形)	
	講師/主任	尾形美樹 氏(JSB)					
	講評	<ul style="list-style-type: none"> ・試合全体としてレフリーが必要な場面にきちんと登場していたことで、試合が運営されていたことが良かった。 ・その中でダブルホイッスルが多くみられたので、プライマリーの理解を徹底してほしい。 ・自分が今どこを見るべきなのか、クレーがどこを見ているのか常に把握できるように試合中に意識をすれば、自ずとプライマリー・セカンダリーとホイッスルのタイミングがズれてくる。 ・表示物の管理がクレーで共有して管理できていたのが良かった。 					
	自己の感想	<p>2日目は前日の反省を生かして、クレーとの試合中のコミュニケーションをどう取るかを意識しました。前日と比較して落ち着いて試合に入ることができ、表示物の管理がしっかりと行えたのが良かった点と感じております。試合全体としては、点差も開きレフリーが必要以上に出ることのない試合展開となりました。ナチュラルインターバルを作り上げることができ、クレーワークが良く試合運営が行えたと自負しております。</p> <p>その中でも3人が3人ダブルホイッスルがいくつか見られ、プライマリーがどちらなのか曖昧なケースがいくつかありました。講師の方に講評でいただいたようにクレーがどこを見ているのかを常に意識する必要があると感じ、次回からの課題となりました。</p>					